宇宙人東京に現わる（1956）

メディア 映画
ジャンル 特撮　ＳＦ
製作国 日本
色彩 Color
時間 87分
初公開日 1956/01/29

【解説】
日本特撮初の本格的カラーＳＦ映画。岡本太郎デザインによるパイラ人が異彩を放つ。世界各地でＵＦＯの目撃が話題となっていた頃、東京の天文台で助手の磯辺は謎の発光体を発見する。研究を進めるうち、やがてヒトデ型の宇宙人・パイラ人が出没し始める。パイラ人たちは、地球に天体が接近しつつあることを告げるのだが……。
異星人を登場させながらも侵略テーマではなく、一種のコンタクト・テーマに主眼が置かれている点が目新しい。パイラ星人は巨大化せず、地上に降りても垣根から覗くだけというのがいかにも地味だが、作品の持つメッセージ性はその分よく出ていたと言える。主人公・磯辺には「アフタヌーンショー」でお馴染みの川崎敬三が扮している。

【クレジット】

監督	島耕二		
製作	永田雅一［製作］		
企画	中代冨士男		
原案	中島源太郎		
脚本	小国英雄	Hideo Oguni	
撮影	渡辺公夫		
美術	間野重雄		
色彩指導	岡本太郎		
編集	鈴木東陽		
音楽	大森盛太郎		
特殊技術	的場徹		
	築地米三郎		
	田中捨一		
出演	刈田とよみ		青空ひかり/天野銀子（パイラ人）
	川崎敬三		磯辺徹
	八木沢敏		パイラ人第２号
	見明凡太郎		小村芳雄
	南部彰三		磯辺直太郎
	フランク・熊谷	Frank Kumagai	天文台通信係
	河原侃二		高島博士
	岡村文子		お花
	永井エミ子		小村多恵子
	小原利之		天野健一
	平井岐代子		松田清子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

斎藤紫香	紳士を振った男
山形勲	松田英輔
夏木章	パイラ人第３号
目黒幸子	磯辺徳子
渡辺鉄弥	三吉
泉静治	酔客
谷謙一	用心棒
杉田康	新聞記者
津田駿二	パイラ人第４号
花村泰子	芸者
原田該	船員

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.